

第20回： 化学物質による環境汚染の今後の動向(第3回)

開催日： 1991年12月4日～5日 / 会場： 「北とびあ」東京都

開催趣旨： 農薬、ダイオキシン、有機スズ化合物等の化学物質による環境汚染が種々明らかになり、その対応が急がれております。そこで、化学物質による環境汚染の現状を把握し、さらに環境への残留性、生物への影響、リスクアセスメント等化学物質の安全性を正しく評価していく事が重要であります。このセミナーでは過去実施したセミナーの課題をさらに深めて、化学物質による環境汚染の今後の動向を明らかにし、今後の研究または対策を立案する際に役立つ事を目的としました。

講演タイトル(講師/所属(当時)):

- 有害化学物質のリスクアセスメント(盛岡通/阪大・工)
- 有機スズによる環境汚染(森田昌敏/国環境研)
- 有害廃棄物の環境影響評価システム(細見正明/国環境研)
- 農薬の環境中での挙動解析と残留性(山田忠男/前農環技研)
- ゴルフ場使用農薬現状と暫定基準農薬追加の経緯(浦山隆雄/環境庁)
- WHO,EPA 及び我国の水道法の水質基準改訂の動向(眞柄泰基/国公衛院)
- 培養細胞を用いた水質評価法(内海英雄/昭和大・薬)
- 環境水中の変異源・発がん物質について(木苗直秀/静岡県大・食品栄養)
- ダイオキシン関連物質の汚染の現状と毒性評価の問題点(樫本隆/摂南大・薬)